

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人 茂原高師保育園
たかし保育園市川二俣



令和1年度 事業報告書

たかし保育園市川二俣

1、管理業務の実施状況

①事業内容

開園時間	月～金	7:00～20:00		
	土	7:00～19:00		
		保育標準時間	保育短時間	
保育時間	月～土	7:00～18:00	7:00～16:30	
延長保育	月～金	18:01～20:00	7:00～8:29	16:31～20:00
	土	18:01～19:00	7:00～8:29	16:31～19:00

②クラス編成

定員40名（運営定員 名）

	クラス名	定員	平成31年 4月	令和2年 3月
0歳	めばえ	4	4	4
1歳		6	5	6
2歳	ふたば	6	6	6
3歳	みのり(3.4.5歳児 異年齢保育)	8	6	8
4歳		8	2	4
5歳		8	1	1
合計		40	24	29

③職員体制

園長	1名	加賀林
主任保育士	1名	根本
保育士	7名(1名)	山川、中田、橋本、神田、日向野、笹川、(松田)
栄養士	2名	大橋、竹内

※人数はパート職員を含む () はパート職員

2、年間行事実施予定

2019年4月	入園式 クラス懇談会 慣らし保育
5月	保育参観 内科健診 幼児バス遠足（浦安市総合公園） 幼児尿検査
6月	蟻虫卵検査 歯科検診 総合避難訓練 異年齢交流（なかよしの日）
7月	七夕の集い プール遊び 水遊び
8月	夏祭り プール遊び すいか割り 駅前交流（4・5歳児）
9月	引き渡し訓練
10月	運動会
11月	内科健診 保育参観 個人面談（希望者） 幼児遠足（西船橋近隣公園）
12月	歯科検診 おおきくなったね会 お楽しみ会 もちつき
2020年1月	初釜
2月	節分の集い ありがとうクッキング（幼児） カレーパーティー（幼児） 歯の大切さを知る
3月	ひなまつり（幼児生け花） 卒園式 幼児お別れ親子遠足（西船橋近隣公園）
毎月実施	避難訓練 身体測定 誕生会（3～5歳児）*0～2歳児は個別実施 クッキング（3～5歳児） さわってみよう（0～2歳児）
その他	職場体験・ボランティア受け入れ

3、研修実績

①内部研修

- ・各種マニュアルの読み合わせ
- ・嘔吐物・感染症の対応について
- ・パワハラ、虐待について
- ・保育園での安全対策について
- ・戸外活動の安全対策について
- ・水遊び、プール遊びの安全対策

②外部研修

- ・全職員が交代で参加
- ・キャリアアップ研修

③法人内研修

- ・新人研修
- ・新浦安への体験研修
- ・各専門的分野が集まり実施

4、運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 平成31年度（自）平成31年4月1日～（至）令和2年3月31日」参照

5、評価及び反省

(1) 児童処遇について

毎日安定したリズムで、主体的な生活ができるように環境構成を考えながら、一人ひとりのこどもの発達に合わせた保育者の関わり方や声掛けを工夫していきました。

0～2歳児は、食事を中心に担当制とし、こどもとの信頼関係を深めながら基本的な生活習慣を丁寧に伝えていくことで、身の回りの事を自ら行う姿に繋げていくことができました。遊びでは、五感を使って遊べるよう配慮し、その楽しさをこども同士や保育者と共有できる経験を通して、人との関わり方や意欲を育んできました。

3～5歳児は少人数ということで、一人ひとりのペースを大切に配慮することができた半面、4～5歳児の教育面で同学年から受ける刺激の欠如を苦慮し、年齢に応じた活動を駅前、新浦安の協力の基行っていました。その経験がこどもの自信につながり、その姿が3歳児にもよい刺激となりました。また、季節の行事を取り入れた体験などを通して、家庭における保護者とこどもとの関係を深めることにより、保護者と園との信頼をより一層深める事ができました。

園の前は交通量が多い道路であり、園庭がないことも伴って、戸外活動における安全面に十分配慮していきました。この一年、事故なく過ごすことが出来ましたが、様々な事由を想定し、今後も安全に対する意識を高めて保育を行って参ります。

(2) 全般について

4月に開園した時点で未経験の職員が多かったため、職員一同で、まずはこどもが戸惑わない、待たされない、安定した生活動線や生活リズムで過ごせるような環境を考えていきました。そして、その中で一人ひとりのこどもの発達に合わせた保育者の関わり方、声掛けを日々学んでいけるように話し合いを多く持ちました。園内外、法人での研修も良い経験と学びの場になりました。

保護者の方々とは、日頃のコミュニケーションを大切にし、こどもを真ん中に信頼関係を築いていくことができました。特に、1月末頃よりの新型コロナウイルスによる行事変更や中止には、快くご協力を頂くことができました。その信頼を大切にこれからも安全・安心の保育を提供できるよう努力して参ります。

地域交流としては、まだまだ開拓の余地があるところであり、災害時などにおいて助け合えるような関係を、今後築いていきたいと思っております。